

しょうてんがい へんか いどう
商店街の変化と移動はんばい車
6年 説明文 19番

名前

中村さんは、大学を卒業してから、都会の会社で働いていました。満員電車で通勤し、休日は買い物や外食に出かける生活です。故郷の町にもどってきたのは、会社の都合で地元の支店に異動になったことがきっかけです。五年ぶりに帰った町は、記憶の中の景色と少しがっていました。

子どものころの商店街には、八軒ほどの店が並んでいました。もどてみると、開いている店は三軒だけで、残りはシャッターが閉まったままでした。歩く人の数も、ずいぶん少なく感じられました。

ある日、近所に住むお年よりと立ち話をする機会がありました。「車の運転をやめてから、買い物に行くのが大変になった」「バスは一日に三本しかなくて、時間が合わない」。中村さんは、そうした声を、一人だけでなく何人からも聞きました。重い荷物を持って、坂道を歩いて帰るのがつらい、という話も出ました。

話を聞くうちに、中村さんは「これは、仕事として取り組めるのではないか」と考えるようになりました。困っているのは、決して少数の人ではなく、町のあちこちにいる人たちだったからです。都会での仕事の知識も、何か生かせるかもしれないと思いました。

考えた末に始めたのが、軽トラックで町を回る移動はんばいでした。新鮮な野菜や日用品を積み、曜日と時間を決めて、いつも同じ場所に車を止めます。お年よりが、家から歩いて出てこられる距離であることを、いちばん大事にしました。

今では、車が来る時間になると、近所の人が少しずつ集まってきます。買い物だけでなく、車のまわりで立ち話をする時間にもなっているようです。中村さんは、だれかの様子がいつもとちがえば、それに気づけることも、この仕事の大事な役目だと考えています。

わたしは、困りごとは、そこに住む人にしか気づけないことが多いと感じました。

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません

(1) 中村さんが、五年ぶりに町へもどって気づいた商店街の変化を、文章の言葉を使って書きましょう。

(2) 近所のお年よりから聞いた、買い物についての困りごととして、文章にあげられているものはどれですか。最も適切なものを一つ選びましょう。

ア 好きな野菜が売っていないこと

イ 商店街に人が多すぎて歩きにくいこと

ウ スーパーの値段が高くなったこと

エ 車の運転をやめてから、買い物に行くのが大変になったこと

(3) 近所のお年よりが話していた、バスについての困りごとを、文章からそのまま書きぬきましょう。

(4) 次のうち、筆者の考え(意見)が述べられている一文を一つ選びましょう。

ア わたしは、困りごとは、そこに住む人にしか気づけないことが多いと感じました。

イ 曜日と時間を決め、いつも同じ場所に車を止めます。

ウ 子どものころの商店街には、八軒ほどの店が並んでいました。

エ 考えた末に始めたのが、軽トラックで町を回る移動はんばいでした。

(5) この文章の要旨を、五十字以上六十字以内でまとめましょう。

(6) あなたが中村さんだったら、身の回りのどんな困りごとに目を向けますか。理由をつけて書きましょう。

書き方のヒント

「わたしが目を向けるとしたら、〜という困りごとです。」の形で書き始めよう。

理由には、自分や身近な人が困った具体的な場面を入れる。

商店街の変化と移動はんばい車

解答

6年 説明文 19番

名前

中村さんは、大学を卒業してから、都会の会社で働いていました。満員電車で通勤し、休日は買い物や外食に出かける生活です。故郷の町にもどってきたのは、会社の都合で地元の支店に異動になったことがきっかけです。五年ぶりに帰った町は、記憶の中の景色と少しがっていました。

子どものころの商店街には、八軒ほどの店が並んでいました。もどてみると、開いている店は三軒だけで、残りはシャッターが閉まったままでした。歩く人の数も、ずいぶん少なく感じられました。

ある日、近所に住むお年よりと立ち話をする機会がありました。「車の運転をやめてから、買い物に行くのが大変になった」「バスは一日に三本しかなくて、時間が合わない」。中村さんは、そうした声を、一人だけでなく何人からも聞きました。重い荷物を持って、坂道を歩いて帰るのがつらい、という話も出ました。

話を聞くうちに、中村さんは「これは、仕事として取り組めるのではないか」と考えるようになりました。困っているのは、決して少数の人ではなく、町のあちこちにいる人たちだったからです。都会での仕事の知識も、何か生かせるかもしれないと思いました。

考えた末に始めたのが、軽トラックで町を回る移動はんばいでした。新鮮な野菜や日用品を積み、曜日と時間を決めて、いつも同じ場所に車を止めます。お年よりが、家から歩いて出てこられる距離であることを、いちばん大事にしました。

今では、車が来る時間になると、近所の人が少しずつ集まってきます。買い物だけでなく、車のまわりで立ち話をする時間にもなっているようです。中村さんは、だれかの様子がいつもとちがえば、それに気づけることも、この仕事の大事な役目だと考えています。

わたしは、困りごとは、そこに住む人にしか気づけないことが多いと感じました。

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません

(1) 中村さんが、五年ぶりに町へもどって気づいた商店街の変化を、文章の言葉を使って書きましょう。

(例) 子どものころ八軒ほどあった商店街の店が、開いているのは三軒だけになり、残りはシャッターが閉まっていたこと。

(2) 近所のお年よりから聞いた、買い物についての困りごととして、文章にあげられているものはどれですか。最も適切なものを一つ選びましょう。

ア 好きな野菜が売っていないこと

イ 商店街に人が多すぎて歩きにくいこと

ウ スーパーの値段が高くなったこと

(エ) 車の運転をやめてから、買い物に行くのが大変になったこと

(3) 近所のお年よりが話していた、バスについての困りごとを、文章からそのまま書きぬきましょう。

バスは一日に三本しかなくて、時間が合わない

(4) 次のうち、筆者の考え(意見)が述べられている一文を一つ選びましょう。

(ア) わたしは、困りごとは、そこに住む人にしか気づけないことが多いと感じました。

イ 曜日と時間を決め、いつも同じ場所に車を止めます。

ウ 子どものころの商店街には、八軒ほどの店が並んでいました。

エ 考えた末に始めたのが、軽トラックで町を回る移動はんばいでした。

(5) この文章の要旨を、五十字以上六十字以内でまとめましょう。

(例1) 商店街の店が減り困っている人が多いことに気づいた中村さんは移動はんばいを始め、買い物と交流の場になっている。(例2) 町にもどった中村さんは、買い物に困る人の声を聞いて移動はんばいを始め、それが人々の集まる場にもなっている。

(6) あなたが中村さんだったら、身の回りのどんな困りごとに目を向けますか。理由をつけて書きましょう。

(例) わたしの近所には、荷物を持って坂道を歩くのが大変そうなお年よりがいます。もし仕事にするとしたら、重い荷物を家まで運ぶような仕組みがあったらよいと思います。中村さんのように、身近な人の様子を見て気づくことから始めるのだと思いました。

書き方のヒント

「わたしが目を向けるとしたら、〜という困りごとです。」の形で書き始めよう。

理由には、自分や身近な人が困った具体的な場面を入れる。

解答・解説 商店街の変化と移動はんばい車（6年・説明文）

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません。School Stock の書き下ろしで、実際にあった取材ではありません。仕事の中身は、厚生労働省の職業情報提供サイト（job tag）などの公的な資料で確かめてから書いています。子どもに紹介するときは、実在の人の話ではないことを一言そえてください。

問1 （例）子どものころ八軒ほどあった商店街の店が、開いているのは三軒だけになり、残りはシャッターが閉まっていたこと。

第二段落に書かれています。「八軒→三軒」の変化が書けていれば正かいです。

問2 エ

第三段落に「車の運転をやめてから、買い物に行くのが大変になった」とあります。

問3 バスは一日に三本しかなくて、時間が合わない

第三段落の、お年よりの言葉をそのまま書きぬきます。

問4 ア

文末が「～と感じました」となっており、筆者の意見です。イ・ウ・エは中村さんについての事実です。

問5 （例1）商店街の店が減り困っている人が多いことに気づいた中村さんは移動はんばいを始め、買い物と交流の場になっている。（例2）町にもどった中村さんは、買い物に困る人の声を聞いて移動はんばいを始め、それが人々の集まる場にもなっている。

「困りごとに気づいたこと」と「移動はんばいを始め、交流の場にもなっていること」の二つが入っていれば正かいです。五十～六十字を目安にします。

問6 （例）わたしの近所には、荷物を持って坂道を歩くのが大変そうなお年よりがいます。もし仕事にするとしたら、重い荷物を家まで運ぶような仕組みがあったらよいと思います。中村さんのように、身近な人の様子を見て気づくことから始まるのだと思いました。

答えは自由です。自分の身の回りの具体的な場面を理由として書けているかを見ます。仕事に必ずしなくても、困りごとに気づく視点が書けていれば正かいです。